

鎌取駅の改札口の改善・改良及び直通快速電車の増便のお願いについて

(要望) の報告

要望の件で10月21日11時にJR東日本千葉支社を、ちはら台自治会より前田会長と花澤、おゆみ野自治会より豊田会長と二人の副会長で訪問して、税務部関副課長、設備グループ大滝副課長、運輸部栗栖副課長、広報の新聞氏と面談しました。

1. 鎌取駅の改札口の増設について大滝副課長より鎌取駅の乗車人数の大幅な増加、平成元年4,000人→平成20年18,500人は十分把握している。現在千葉支社より本社に改善案を提出して検討中であり近い将来実現される見込みであるとの事。
増設プランとして現在の事務室を改築して改札口を増設するプランで検討中、事務室が狭くなる為に北側に増築も検討中、用地が千葉市なので協力が必要である。改札口2～3基増設の予定である。
2. 当方の要望として現行のプランでは限界があるので、次善のプランとして駅西側の壁を抜いてもう一つの通路を作る事も検討して欲しいと要望する。
3. 栗栖副課長より直通便の増便についての説明がある。平成16年に7:56分、平成17年に7:21分の増便をしている。昨年17:00の誉田駅行き18:31の誉田駅行きの増便をしている。現状ではあいている列車がなくこれ以上の増便は難しい。採算から考えてこれ以上の設備投資は難しい状況である。増便する上でのネックは
 - ① 大網駅での折り返し運転ができれば増便可能であるが駅の構造上ホームの傾斜が厳しくホームの改良が出来ない。
 - ② 現在誉田駅にホームが3本あるので折り返し運転をしているがこれ以上増やすと土気駅・大網駅からの不満が増大して難しい状況。
 - ③ 茂原駅での折り返し運転は途中、永田駅・本納駅の本数が減ってしまい難しい。現状では増便が難しい状況である。
4. 特急の鎌取駅停車の要望を行う。
現状外房線の特急は蘇我、誉田、大網と停車していた。最近誉田駅の停車をやめて土気停車となっている。乗車客は鎌取駅の方が多いので停車させて欲しいと要望する。最低でホームライナーの停車を強く要望する。検討して返事をくれるとの事である。

1時間10分にわたりこちら側の要望を伝えました。JR側は文書での回答は一切しないとの事で口頭での回答となりました。また改めて訪問して実現を確保していく予定です。皆さん意見を聞かせて下さい。